

《Lesson 1》 「一般動詞の文」の特徴

一般動詞とは、日本語でいう「動詞」のことを言います。つまり「食べる」「歩く」といった動作を表す単語です。これらの単語が入る文が「一般動詞の文」となります。

【一般動詞とは】

(1) 動作や状態を表す単語（基本的に「う段」の音で終わる）

<例> 食べる / 飲む / *好き / *ほしい

〔*日本語で言う『動詞』は基本的に「う段」の音で終わるが、like (好き) や want (ほしい) は例外。
あえて言うのであれば「好む」「求める」となる。〕

また、英語では基本的に

「一般動詞が入らない文 (be 動詞の文)」と
「一般動詞の入る文 (一般動詞の文)」とに分けられます。

<一般動詞の入らない文 (be 動詞の文) の例>

私は医者です。 彼は背が低かったです。 あの学校は古くないです。
(日本語でいう「動詞」が入っていない)

<一般動詞の入る文 (一般動詞の文) の例>

私は走ります。 彼女は英語を教えます。 彼はギターを弾きます。
(「走る」「教える」「弾く」は、日本語でいう『動詞』)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。